

さいたま市シニア大学大宮校
第六期校友会

六班だより

2010年12月 第21号

編集・発行 岡村昭則

シニアユニバーシティ校友会連合 会・大宮協議会主催 「見沼通船堀と水風景」 のウォーキング

11月19日、朝起きれば、素晴らしい秋晴れの天気となったことがこの天気では誰もどこか外へ出掛けなくなる気持ちにかられる。東浦和駅に午前9時半に集まってみれば、なんと80数名という参加者であり、我々の六期校友会会員も18名の参加とは驚く。六班からは私のみでした。

まずは東浦和駅から程近い見沼通船堀公園を抜ける。初めて通船

の水門を見て、私が描いていたイメージとはほど遠いものであった。それは何故かといえば、昔も主に冬の時期に運用されていたようだが、水も涸れ果てるような風景では、当時のイメージが湧いてこないことに起因している。この広大な見沼田圃が時代と共に姿を変えて今日に至っているが、田圃風景の見沼田圃を横切る武蔵野線の電車が走る光景は見応えがあり、思わず「すばらしい」と呟いてしまった。私にとって郷愁を覚える風景なのだ。

川口市自然公園も見沼田圃の一部で整備されている市民憩いの場である。入れ口から直ぐのところ池があり、大勢の太公望が釣糸を垂れている。この風景も好きな風景だ。魚と人間の知恵比べが楽しい。

水の澄んだ代用水に沢山の小さな貝殻が川底に沈んでいるので蜆が居るのではと思っていたら下流で蜆取りしている人が居たのには驚いた。初めてみる風景に感動した。

最後に古民家園を訪れた。我々にとっては小さい時に慣れ親しん

できた家屋と古道具であり、見ていただけで懐かしさがある。子供達のために体験学習も開かれているむという。今日も2台の観光バスが駐車していた。解散後、パソコンクラブメンバーで古民家の庭先で秋陽射しの中で楽しい昼食をとり、一時を楽しんで後にした。楽しかった一日に感謝！



さいたま市シニアユニバーシティ大宮校・六期校友会 22年度第四回理事会

11月24日

一、六期の行事について

12月8日「第二回学習会」をシ
ーノ10階で関利雄さんによる「太
平洋戦争体験記」の講演を行いま
す。担当は9班です。

親睦旅行の報告 六千円会費で
あったが、安く上がったので千円
バックして校友会の補助金も1万
円強で済んだことが報告された。

第三回定期総会は3月23日に
清水園で開催されることが報告さ
れた。担当は一班と十班。

各班活動、クラブ活動が報告さ
れた。特に各班合同による催しが
行われたことが報告された。

広報活動として、正月号の原稿
を十二月二十五日まで提出するよ
うに要請。

二、連合会の動向について

グラウンドゴルフ大会は11月
10日に行われたが140名とい
う大人数になったことから、来年
度は各競技会で行うようになった

報告された。

文化祭は作品展の申し込みが締
め切られた。私は今回辞退した。

芸能部会は、カラオケクラブが
参加するが十二分の持ち時間と短
縮されたことから、来年度の出場
は考えるとの発言あり。

三、大宮協議会の動向について
さいたま市シルバーセンター作
品展の支援に3名の参加が報告さ
れた。

見沼田圃のウォーキングに80
名近くの方が参加し、六期校友会
として18名参加のほうこくがあ
った。

ボウリング大会は12月1日参
加予定32名で、六期は19名。

さいたま市シニアユニバー
シティ大宮校6期校友会主
催

第2回学習会 「太平洋戦争 体験記」

講師 関 利雄氏

平成22年12月8日、シーノ
大宮センタープラザホールで10
時より2時間、関利雄さんが「太
平洋戦争体験記」についてご講演
をしました。当日は朝方に降ってい
た雨も上がり、お天気は急速に回
復をして10階のホールからは、
青空の下、関東平野の南西に皆の
如く広がる山並みが望めるという
素晴らしい景観のもてなしを受け
ました。参加者もこの素晴らしい
天気誘われたことや、学習会終
了後の忘年会の参加もあって六期
校友会から47名が参加し、六班か
ら伊藤、桑原、仁井田、鈴木さん
と私を含めて5名が参加しました。
協議会全体で85名の方が参加さ
れました。

講演開会に当たり開催を準備さ
れた大宮校六期8班の榎本班長の
開会の挨拶後に、関利雄さんの講
演が始まりました。印象に残った
お話しをまとめて紹介します。

憧れの少年飛行兵に合格して3
年弱の訓練後、熊谷陸軍飛行学校
を卒業して満州の飛行第77隊に
配属されて終戦を迎えるまでの間
飛行兵としての関さんの足跡が始
まります。関さんが満州から南方

のスマトラ、ゲルパン飛行場に
進攻する時に、10数日間も要し
たお話しから、当時の戦闘機の性
能や、機内が身動きでない狭さか
ら身体が一日に3時間から4時間
位の操縦が限界なので、中継しな
がら飛んでいったことを知りまし
た。

関さんの初陣は中国、ビルマ国
境付近で燃料輸送中の連合軍機へ
攻撃したときは、高度の寒さと初
めの戦闘や恐怖からガタガタと
震えながら機関砲を打ち続け、敵
機がどうなったかわからないとい
うほどの精神状態を話されました
が、関さんが一番深く脳裏に焼き
ついている風景なのではないでし
ょうか。

その後、終戦を迎えるまで様々
な軍事作戦に参加されて地獄を見
てきた中で、関さんが生き残って
こられたのは、マラリア発病、勝
負運の弱さ、愛機の故障、爆弾が
外れ落ちて不発弾となったこと等
見ても、運命的な「時の運」が生
への方向へと導いてくれたことは
間違いないのではないのでしょうか。
太平洋戦争で多くの軍人が戦死
しましたが、戦場で戦って亡くな



つたというよりも遙かに餓死した人の方が多いという悲惨な状況をお話しされました。また、俄か作りの特攻隊に多くの学生さんが参加して、訓練不足のまま操縦するため人身事故の多発から飛行機が減少したり、帰らぬ人が多くなつたことなどを聞き本当に胸の痛む思いでした。

2時間わたる講演も終わり、振り返れば、太平洋戦争で日本軍人約230万人が戦死されています。この御霊の上に今があることを忘れてはいけません。私たちはこの悲惨な戦争を通して「平和」の尊さを学んできました。その「平和」を維持し続けるためには「戦争を知らない世代」に、関さんのような戦争体験を語り続けることが大事であることを痛感します。学習会を企画された関係者のみなさん有難うございました。



平成 22 年度大宮校 6 期『第 2 回学習会』

太平洋戦争体験記

講師：関 利雄氏



写真は講師の 関 利雄伍長(当時)の勇姿
昭和 19 年タイ・チェンマイ飛行場に帰機後撮影



日時：平成 22 年 12 月 8 日(木) 10 時～
 場所：シーノ大宮センタープラザ 10 階
 主催：ユニバーシティ大宮校 6 期校友会
 共催：校友会連合会・大宮校協議会

校友会だより10号を以つて私の編集を終了させて頂きます 岡村昭則

5年前にさいたま市シニアユニバーシティ大宮校六期生として入学し、大学・大学院と2年間にわたり、大勢の皆様にお会いして楽しく過ごさせていただきました。その間、自分の好きな編集分野で自治会・校友会活動でお役に立てらと思つて、自治会での「卒業記念文集」、校友会では、会報担当を設置していただき、「校友会だより」の編集を引受けてきました。

この5年間を振り返つて見ますと、シニアユニバーシティに入る前までは、ワープロで様々な文書等を編集して来ましたが、ここではレイアウト、校正による脱字、誤字などの修正には大変苦労しました。しかし、シニアユニバーシティで初めてパソコンを習い出したところ、キーボードアレルギーもなく、スムーズにパソコン駆使の技術を修

得したことで編集技術も向上しました。お陰様で自治会・校友会活動の広報の一端を担うことが出来ました。

しかしながら、昨年7月に体調を崩してから、思うように休むことが出来なくなり、これまで携わってきた諸々の活動を縮小せざるを得なくなりましたので、「校友会だより10号」を以つて編集を終了させていただきますことになりました。これまでの5年間にわたつて私の拙い編集で会員の皆様に「校友会だより」をお届けして来ましたが、多々、誤字や脱字で大変ご迷惑をお掛けしました。お許しいただきたいと思ひます。長い間、ご愛読有難うございました。最後になりましたが、編集にあたつて投稿いただいた、各班、各クラブ、個人の方々、役員の方々に感謝申し上げます。会報担当の皆様これまでのご協力有難うございました。



六期校友会だより発行状況

23 ・ 1 ・ 11	22 ・ 9 ・ 8	22 ・ 5 ・ 12	22 ・ 1 ・ 8	21 ・ 9 ・ 10	21 ・ 5 ・ 7	21 ・ 1 ・ 7	20 ・ 9 ・ 1	20 ・ 5 ・ 1	20 ・ 1 ・ 19	19 ・ 1 ・ 15
第十号	第九号	第八号	第七号	第六号	第五号	第四号	第三号	第二号	第一号	卒業文集
								だよりの内容	シニアユニバーシティ大学院のまとめとして、班・クラブ・文化祭等	班・クラブ・文化祭等紹介
								・役員会及び理事会関係・学習会 ・親睦旅行・班活動・クラブ活動 ・連合会及び協議会等関係・投稿 ・お知らせ等		
P 20	P 20	P 30	P 27	P 46	P 38	P 29	P 38			P 96

